

案内

待降節 (アドヴェント=Advent)

アドヴェントは「到来」を意味し、クリスマスに先立つ4週間、主イエス・キリストの誕生日を迎える心の準備をする時です。この期間、聖壇のオルタークロスと礼拝週報の印刷は紫色となります。この色は悔い改めを表しています。

青山学院クリスマス・ツリー点火祭 ～降誕を待ち望む礼拝～

イエス・キリストの降誕を待望する「待降節」を期して、各キャンパスの礼拝堂でオンラインにて点火祭（礼拝）を放映し、各キャンパスのクリスマス・ツリーに灯をともします。当日は5時限目の授業を短縮して行います。

日時 11月27日(金) 青山キャンパス ガウチャー記念礼拝堂 17時50分～
(5時限目は17:50まで)
相模原キャンパス ウェスレー・チャペル 16時40分～
(5時限目は17:20から)

礼拝の動画配信について

日々の礼拝について、大学・短大オンライン礼拝サイトで動画配信しております。
以下のURLにアクセスし視聴可能です。

URL: https://www.aoyamagakuin.jp/post_consistency/onlinereihai/



礼拝堂でオンライン礼拝の放映について

学内の皆さま、一部対面授業再開に伴い、授業期間の10:30～11:00、大学礼拝堂を開放し、当日のオンライン礼拝配信動画を上映しています。宗教センタースタッフが、感染防止対策を施していますので、心落ち着ける場として安心してお越しください。

オルガン・メディテーションについて

オンライン礼拝放映後(約10分間)、オルガニストによるオルガン・メディテーションを不定期で行っております。各キャンパスのチャペル入口にメディテーション実施についての情報を掲示しています。10:55までには終わるようにし、2時限目の授業に間に合うようにしています。

「キリスト教活動のしおり」参照ください

宗教センターのホームページに「キリスト教活動のしおり」を載せました。
参照いただき諸活動について参加ください。

URL:

<https://www.aoyamagakuin.jp/wp-content/uploads/2020/04/2020christianactivity.pdf>



青山学院大学・短大礼拝週報

2020.11.23.
11.30.

神の国節第25週
待降節第1週

No. 27,28合併号(オンライン礼拝)

キリスト教のシンボル [14]

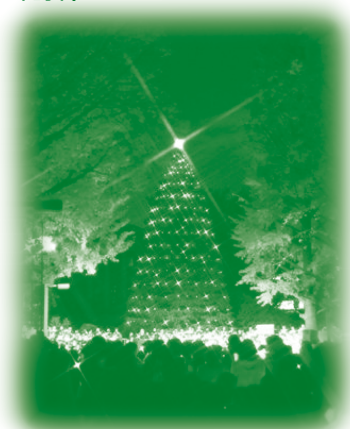
「クリスマス・ツリー」

クリスマス・ツリーの起源については様々な説がありますが、創世記3章に記された墮罪物語と関連があるようです。

神との約束を破ってしまったアダムとエバは、エデンの園から追放されます。創世記3:24には、神が楽園の門を閉ざしたため、命の木に近づく道は断たれてしまったことが記されています。しかし命の木に至る道は、後にイエス・キリストによって再び通ることができるようになります。それは、最初の人アダムによって罪が世に入り、全ての人に及んだわけですが、キリストが十字架の上で贖いの死を遂げることにより、全人類の罪は洗い清められたからです。

救い主であるキリストが、神と人間との関係を回復するために、私たち人間と同じ肉体をまとい、聖なる夜に地上にお生まれ下さった。こうしたキリストの誕生と贖罪を想起させるのが、クリスマス・ツリーの役割なのです。

今年のクリスマス・ツリー点火祭は青山と相模原の両キャンパス動画配信で行われます。アドヴェント(待降節)に入る直前の金曜日の夕刻に、毎年行われる礼拝です。



クリスマスツリー(青山キャンパス)

今年度の主題聖句

平和を尋ね求め、追い求めよ。(詩編 第34編 15節)

礼拝動画配信は以下のサイトで

https://www.aoyamagakuin.jp/post_consistency/onlinereihai/



今週の聖句

神の国節第25週

「涙と共に種を蒔く人は／喜びの歌と共に刈り入れる。」(詩編 第126編5節)

解説：これは祭りの時にエルサレムに向かって行く際に歌われていた歌の一部です。神が、バビロン捕囚を終わらせ人々をシオンに帰されると言うことが語られたとき、人々は信じられないという喜びに満たされました。そしてその言葉は紀元前538年に現実のものになりました。これは、その歴史をふまえ語られています。正しく誠実に、神と共に、将来に向かって種を蒔き、準備していく人は、時が来る時に、神と共に喜びの収穫を受けます。今日の日を誠実に生きましょう。

11月23日(月)

(勤労感謝の日)

11月24日(火)

司式 大島 力
説教 松木田 優
(静岡一番町教会牧師)
前奏 奏楽 坂戸 真美
招詞
讃美歌21 452(1節)
聖書 ヨハネ 14:1
(新196頁)
説教 「カレーも宇宙人も
信じる」
祈祷
祝福と派遣
後奏

11月25日(水)

コンテンポラリー礼拝

聖書 ルカ 10:25~28
(新126頁)
メッセージ
「学生のための十戒」
シュー士戸 ポール
(学院副院長・大学宗教主任)
ワーシップ・ディレクター
塩谷 達也

11月26日(木)

説教 伊藤 悟
(大学宗教主任)
前奏 奏楽 坂戸 真美
招詞
讃美歌21 386(1,4節)
聖書 ルカ 23:34,35
(新158頁)
説教 「信じられている
わたし」
祈祷
祝福と派遣
後奏

11月27日(金)

説教 大島 力
(学院宗教部長・大学宗教主任)
前奏 奏楽 坂戸 真美
招詞
讃美歌21 235(1節)
聖書 ルカ 2:4~7
(新102頁)
説教 「あなたの居場所」
祈祷
祝福と派遣
後奏

待降節第1週

「お言葉どおり、この身に成りますように。」(ルカによる福音書 第1章38節)

解説：クリスマスは神さまから大きな喜びを与えられる時です。それは人間が頑張って作り出すものではありません。神さまは私たちの常識や限界や絶望を超え、思いもかけない救いの喜びを与えてくださるのです。マリアに起こった事は大変なことです。非難され、婚約者に去られ、場合によっては身に危険が及ぶ可能性もあったのです。しかし、マリアは神さまの可能性を信じました。神さまにはできないことは何一つないと信じ、そして「この身になります様に」と受け入れます。

11月30日(月)

説教 塩谷 直也
(大学宗教部長)
前奏 奏楽 徳田 佑子
招詞
讃美歌21 542(4節)
聖書 詩編 61:2~9
(旧894頁)
説教 「私とあなた、
そしてあの人」
祈祷
祝福と派遣
後奏

12月1日(火)

説教 高砂 民宣
(大学宗教主任)
前奏 奏楽 徳田 佑子
招詞
讃美歌21 242(1節)
聖書 IIコリント 8:9
(新334頁)
説教 「主の貧しさによって」
祈祷
祝福と派遣
後奏

12月2日(水)

司式 藤原 淳賀
説教 飯田 仰
(日本同盟基督教団 国外宣教総主事)
前奏 奏楽 徳田 佑子
招詞
讃美歌 94(1節)
聖書 イザヤ 9:5,6
(旧1074頁)
説教 「ひとりのみどりごが
わたしたちのために
生まれた」
祈祷
祝福と派遣
後奏

12月3日(木)

説教 左近 豊
(大学宗教主任)
前奏 奏楽 徳田 佑子
招詞
讃美歌21 241(2節)
聖書 イザヤ 9:1
(旧1073頁)
説教 「闇、裂かれて」
祈祷
祝福と派遣
後奏

12月4日(金)

説教 森島 豊
(大学宗教主任)
前奏 奏楽 徳田 佑子
招詞
讃美歌 326(1節)
聖書 マタイ 2:9~12
(新2頁)
説教 「のぞみはなくとも、
ひかりがある」
祈祷
祝福と派遣
後奏

聖書(旧):旧約聖書
聖書(新):新約聖書

讃美歌21:1997年版『讃美歌21』
讃美歌:1954年版『讃美歌』